

メルボルの主要下水設備交換事業について

メルボルの主要下水設備交換事業は、将来のメルボルの発展に対応するために健康面と環境面での便益をもたらす大切なプロジェクトです。本プロジェクトの総工費は2億2千万ドルが見込まれており、ビクトリア州政府により資金提供されます。

新しい下水本管は、ドックランドからヤラ川を横切ってポートメルボルンまで約2.3キロに渡って敷設される予定です。本プロジェクトは、トンネル掘削用ボーリングマシンを使い、多くの地下工事を行なって建設されます。

メルボルの最初の下水施設は1894年から1897年の間に敷設されました。この施設はメルボルン市内および南内郊外で良く貢献してきましたが、老朽化、並びに、近郊の発展に伴う処理容量の増加に対応するために老朽化した下水施設の交換が必要になりました。

本プロジェクトは2012年の完成を予定しています。

本プロジェクトのメリットは？

既存の下水施設の交換により、メルボルン CBD、ドックランド、および内郊外の住人にとって多くのメリットがあります。それらの幾つかは次のようなものです。

- 健康および環境面での便益をもたらすインフラの改善
- 長期計画 – 100年の耐用年数を持つ新規下水施設
- 将来の需要増に対応するための大きな処理能力
- 老朽化した下水施設に伴うリスクの減少、および、検査頻度や迷惑となる緊急下水工事の必要性の減少
- ノースワーフにあるポンプ施設の撤去 – 緊急支援施設

新しい下水施設はどのようにして建設されますか？

新しい下水施設の建設は、トンネル用ボーリングマシンを使い、殆どの工事が少なくとも地下10メートル以下の地下で行われます。下水道ルートに沿って、深さ10~15メートルの垂直な点検立坑が6カ所に掘削されます。下水施設が完成したら、これらの点検立坑はマンホールとして使われます。点検立坑の場所は次の通りです。

- スワローストリート点検立坑(ポートメルボルン)
- フェネルリザーブ点検立坑(ポートメルボルン)
- ジョンソンストリート点検立坑(サウスメルボルン)
- サウスワーフ点検立坑(サウスバンク)
- フリンダーズワーフ点検立坑(ウルンジュリウェイの近く) および
- ウルンジュリウェイ点検立坑(ドックランド)

ヤラ川交差施設

メルボルン主要下水施設交換事業の中で、チャールズグリムズ橋上流のヤラ川交差施設は大きな部分を占めています。

この河川交差施設は、湿式締切潜函工法を段階的に使用して建設されます。潜函は、サウスバンクからノースバンクに向かって工事を進め、ヤラ川の通行幅が常に 2/3 はオープンになるように確保しつつ、3 工程に分けて建設されます。各工程ではヤラ川幅の 1/3 が遮断されます。各工程は完成までに約 8 ヶ月を要する見込みです。河川交差施設の工法は 100 年に 1 度の洪水にも耐えられ、被害を最小限にするように設計されています。

ヤラ川交差施設の完成には 2 年を要する予定です。

建設工事中の環境保全について

本プロジェクトによる環境障害が最小限になる経路を選択するために、環境調査と評価に着手しました。

詳細な環境保全計画が策定されており、その中では建設によって生ずる潜在的な環境への影響とそのための保全方法が明記されています。この計画ではさまざまな環境に関する法的要求事項について測定・対処しています。

本プロジェクトの環境保全計画はビクトリア州環境保護庁 (EPA Victoria) の要件に従って策定されています。

地域社会への影響を最小限にする

本プロジェクトの幾つかの課題事項への取り組みに当たっては、地域社会との連携が大きな役割を果たしました。私たちは、本プロジェクトの全ての局面で、プロジェクトによる影響を最小にすることができるように、地域住民、企業体、地域組織、その他の地域社会構成要員と密接に連携します。

私たちは、開かれた、率直な対話を責任を持って行い、地域社会、企業体、並びに該当する当局に対して、本プロジェクトについての情報提供を継続いたします。

更に詳しい情報について

本プロジェクトに関してご質問がある場合や、更に詳しいことを知りたい場合には、私たちの 24 時間インフォメーションホットラインに電話をするか、ウェブサイトをご覧ください。

インフォメーションホットライン: 1800 734 558

ウェブサイト: www.melbournewater/melbournemain.com.au